

中核事業の評価シート【アウトリーチ事業】

作成者:ちばアートウインド運営企業体

1 選定事業

事業名	アウトリーチ事業
関連する施策	施策 1 様々な文化芸術を身近に触れる機会の提供
	施策 4 つながりを生み出す文化芸術活動の推進
	施策 5 子どもや若者が継続して文化芸術に親しめる機会の提供
	施策 12 アーティストが集い、活躍の場を広げるための支援
実施主体	ちばアートウインド運営企業体
市との関わり	指定管理
予算 (R7 年度)	1,658 千円

2 内容

(1)事業概要

事業概要	若葉区・美浜区を中心に小学校や高齢者施設にアーティストを派遣し、事業を実施することで、文化芸術に触れる機会の少ない市民に文化芸術の素晴らしさ、楽しさを伝える。
------	---

(2)第3次文化芸術振興計画の基本目標への寄与

基本目標 1 (関連)	小学校や高齢者施設にアーティストを派遣し、事業を実施することで、基本目標1多彩な文化芸術に触れる機会の拡充に寄与
基本目標 2 (メイン)	文化芸術に触れる機会の少ない市民に文化芸術の素晴らしさ、楽しさを伝えることで、基本目標2文化芸術をとおして相互理解を深める場の創出に寄与
基本目標 4 (関連)	小学校や高齢者施設にアーティストを派遣し、事業を実施することで、基本目標 4 アーティストへの支援と文化芸術に携わる人材の育成に寄与

3 実績

(1)直近の実績

実績 (R6 年度)	1 アウトリーチ事業 (アート体験) 主催:若葉文化ホール 日時: 2025 年 1 月 28 日/計 1 校 目的:特別支援学級児童に対し、学校の授業では体験できないアート体験を実施 内容:千葉市立北貝塚小学校えがお学級との連携にて実施
	2 アウトリーチ事業「弦楽四重奏」 主催:美浜文化ホール 日時:2024 年 10 月 17 日 目的:芸術文化に触れる機会の少ない年代層の集まる施設で実施することにより、

	<p>文化芸術に触れる機会格差の縮小を目指す。</p> <p>内容:千葉市立真砂中学校かがやき分校にて実施。千葉市芸術文化新人賞フォローアップ。</p>
--	--

(2) 関連する参考値

参考値名称	R6 年度	内訳
1-1 街なかでの事業数	1 事業 人	1 アウトリーチ事業 (アート体験) ・ 参加者 23(教諭 4 名含む)人 2 アウトリーチ事業 「弦楽四重奏」 ・ 参加者 43(教諭 8 名含む)人
4-1 社会的包摂を促進する事業数	2 事業	1 アウトリーチ事業 (アート体験) ・ 千葉市立北貝塚小学校えがお学級 2 アウトリーチ事業 「弦楽四重奏」 ・ 千葉市立真砂中学校かがやき分校
5-1 学校と連携した事業数	2 事業	1 アウトリーチ事業 (アート体験) ・ 千葉市立北貝塚小学校 2 アウトリーチ事業 「弦楽四重奏」 ・ 千葉市立真砂中学校
12-1 アーティストへの助成支援数	2 事業 5 人	1 アウトリーチ事業 (アート体験) ・ 参加アーティスト 1 人 2 アウトリーチ事業 「弦楽四重奏」 ・ 参加アーティスト 4 人
12-2 アーティストへの活動場所の紹介件数	2 事業 2 回	1 アウトリーチ事業 (アート体験) ・ アーティスト参加回数 1 回 2 アウトリーチ事業 「弦楽四重奏」 ・ アーティスト参加回数 1 回

4 事業実施者の自己評価等

(1) 事業実施者の自己評価

ア<主たる施策の達成状況> 施策5 子どもや若者が継続して文化芸術に親しめる機会の提供

施策5に対する事業の達成度	概ね達成した
---------------	--------

<達成度の理由>

- 継続という観点では、若葉・美浜とも、普段から文化芸術に触れる機会の少ない生徒を対象としており、継続的に機会を設けるためには、我々が主体となって、継続的に事業実施をしていく必要がある。また、そのような機会を学校側で作れるよう働きかけをしていく必要がある。

イ 施策1 様々な文化芸術を身近に触れる機会の提供

施策1に対する事業の達成度	達成した
---------------	------

<達成度の理由>

- 若葉、美浜ともに普段、文化芸術に触れる機会の少ない生徒を対象にした事業を実施した。

<達成度の理由の指標、アンケート結果>

<若葉文化ホール>

- 完成した作品を教室内に展示。後日参観日に親御さんに鑑賞いただき、好評いただいた(学校より)

<美浜文化ホール>

- (アンケートより)母国では音楽教育のない国だったので、とても楽しく音楽を学べた。TVやnetで流れていて知っていた曲もあったが、それが「クラシック音楽」だと初めて知った。
- (アンケートより)校歌を弦楽四重奏で演奏してくれてありがとうございます！みんなで歌えて楽しかったです。

ウ 施策4 つながりを生み出す文化芸術活動の推進

施策4に対する事業の達成度	達成した
---------------	------

<達成度の理由>

<若葉文化ホール>

- 講師の「自由に描いていいんだよ」の自由に戸惑う生徒がいたが、一人が描きだすと皆が思い思いに絵を描き始め、また手形をつけるなど、自由な発想でアート作品に臨んでいた。

<美浜文化ホール>

- 最初は斜に構えて(恥ずかしがって)聴いていた生徒もいたが、アウトリーチ終了後は、自分が母国で伝統楽器の演奏をしていることや、記念写真を求めるなど、一気に打ち解けていた。

<達成度の理由の指標、アンケート結果>

<若葉文化ホール>

- 学校からは今後も、この方針(皆でアート作品を作る)での特別授業を取り入れたいとの言葉もいただいた。これを機会に次年度のアウトリーチ実施も決定した。

<美浜文化ホール>

- 学校からは、日本には持ってきていないようだが、生徒の母国のそれぞれの伝統楽器を相互に学べる機会が生まれればよいという話も出ていた。これを機会に次年度のアウトリーチ実施も決定した。

エ 施策 12 アーティストが集い、活躍の場を広げるための支援

施策 12 に対する事業の達成度	達成した
------------------	------

<達成度の理由>

<美浜文化ホール>

- 千葉県芸術文化新人賞のヴィオラ奏者、高橋梓さん率いる弦楽四重奏ユニット「クアルテット・セレスシア」によるアウトリーチを実施。本ユニットは過去に文化庁によるアウトリーチ事業の実施アーティストにも選ばれており、小学低学年から中学生まで幅広い年代に対応できるスキルを持っている。文化庁の助成事業以降、アウトリーチの実施場所を探していたということで、当人たちのスキルを活かせる場を提供することができた。

<達成度の理由の指標、アンケート結果>

<アーティストとの打ち合わせ、反省会>

今回は多国籍、多世代にわたる生徒が対象ということで、ターゲットをどこに置くかに苦労した。

結果、レクチャーは小学中学年くらいのレベルで、曲は大人まで楽しめる幅広い曲を選曲、さらに生徒全員が知っている校歌を、弦楽四重奏に編曲して演奏をするなど創意工夫をこらし、新たなアイデアもいくつも生まれた。

(2) 千葉市の意見

主たる施策5「子どもや若者が継続して文化芸術に親しめる機会の提供」について、事業実施者の報告状況からアウトリーチにより、小学校や中学校への鑑賞体験を提供しており、学校からも好意的な意見があることが見受けられる。

一方、事業実施者も記載しているが、単発のアウトリーチに終わらず、事業に参加した子どもたちが継続して文化芸術活動に参加できる仕組みについて検討していく必要があると考える。

5 文化芸術振興会議の評価（案）

(1) 評価(案)

(2) 次回に向けた提言(改善案など)